

環境調査結果のお知らせ

平成22年2月25日
中央漁業指導所・水産試験場

平成22年2月25日午前10時に浦戸湾（高知市横浜・県漁協高知市支所前岸壁）の環境調査をしましたので、結果をお知らせします。

溶存酸素

溶存酸素濃度は9.1~10.0mg/lでした。各層とも酸素濃度は過飽和になっています。海水中のプランクトンの光合成による酸素供給量が増えているためだと考えられます。

水温

水温は16.4~17.0℃でした。前回調査（平成22年1月28日）より、表層で4℃、2m層以深で0.5℃程度上がっています。今回調査の状況から、浦戸湾は春先の水温上昇期に入ったのではないかと考えられます。

塩分

塩分は22.89~32.95でした。表層の塩分が少し低めですが、内湾の環境としては比較的安定して推移しています。

プランクトン

採水の顕微鏡観察では、ラフィド藻のヘテロシグマ・アカシオ、小型の渦鞭毛藻（プロロセントラム類）が優占して出現し、その他、珪藻類、繊毛虫類などが観察されました。出現細胞数は、ヘテロシグマ・アカシオが350~4,400cells/ml、プロロセントラム類は250~750cells/mlでした。ヘテロシグマ・アカシオは20,000cells/ml程度で魚類に被害が出る場合がありますので、今後の動向に注意が必要です。プロロセントラム類は、浦戸湾では毎年春先から初夏に赤潮を形成しますが、基本的に魚類には無害です。その他、特に危険な有害プランクトンは確認されませんでした。

環境は比較的安定していますが、海面の様子や魚など生き物の異常を感じたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲んで、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

平成22年2月25日の観測結果（高知市横浜 水深：3.4m 透明度：2.8m）

水温：℃

塩分：psu

溶存酸素：mg/l

	今回調査結果				前回の結果（2010.1.28）		
	水温	塩分	溶存酸素	出現プランクトン	水温	塩分	溶存酸素
0 m	16.4	22.89	9.1	ヘテロシグマ・アカシオ / プロロセントラム類 / 珪藻類 / 繊毛虫類	12.3	25.23	8.5
2 m	17.0	31.95	10.0		16.4	32.56	6.9
3 m	17.0	32.58	9.4		16.3	32.91	6.6

※前回調査の底層は3.0m

以上